



TOHOKU
UNIVERSITY

平成29年1月6日

報道機関 各位

東北大学大学院工学研究科

東北大学 第3回 公開講座『今、エネルギーを考える』開催について

東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻では、同流体科学研究所、日本保全学会 東北・北海道支部との共催により、エネルギー問題を多面的な視座から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考えていただくための素地を提供することを目的に、下記のとおり公開講座を開催いたします。

第3回となる本講座では、原子力の法規制に深い見識を持つ東北大学特任教授・平岡英治から日本の原子力規制における福島での事故を受けての深化について講演を行うとともに、放射線による健康影響等に幅広く深い知識をお持ちの東北放射線科学センター理事・宍戸文男氏より、福島事故後の放射線による健康への影響などについてご講演いただきます。

ご多用中とは存じますが、是非ご周知頂けます様、何卒よろしくお願い申し上げます。また、当日取材いただける場合は、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

日時：平成29年2月4日（土）13：00～16：15（開場12：30）

場所：東北大学 流体科学研究所2号館5階 大講義室
宮城県仙台市青葉区片平2-1-1（地図添付）

定員：90名（参加無料）※定員になり次第締切りとさせていただきます。

申込：申込み用紙を下記ホームページよりダウンロードしてお送り下さい。

（申し込み締め切り：平成29年1月27日（金））

<http://www.qse.tohoku.ac.jp/news/N00065.html>

内容：

講演1 「安全規制は事故から何を学んだのか」（規制庁人材育成事業の一部として実施）

講師／東北大学 特任教授 平岡英治

講演2 「福島事故後の放射線による健康影響について」

講師／東北放射線科学センター 理事 宍戸文男氏（福島県立医大名誉教授）

問い合わせ先

東北大学大学院工学研究科

量子エネルギー工学専攻

教授 橋爪 秀利／尾本（担当）

電話：022-795-7904・FAX：022-795-7906

E-mail：yumi.omoto@qse.tohoku.ac.jp

◆講演『安全規制は事故から何を学んだか』

東北大学 特任教授 平岡 英治

【講演概要】

住民避難が必要となるような大事故の発生を防ぐことを使命としていた原子力安全規制は何故失敗したのか、原子力安全・保安院での経験をもとに、福島第一原子力発電所事故を改めて振り返り、事故対応や原子力防災の問題点、未然防止できなかった要因、安全規制が抱えていた背景要因等について解説いたします。さらに、これを踏まえ、事故後に見直された安全規制や原子力防災の取組みについての考えも講演いたします。



講師略歴

平岡 英治（ひらおか えいじ）（東北大学 特任教授（客員））
東京大学工学部電気工学科卒業、通商産業省資源エネルギー庁、外務省、工業技術院、資源エネルギー庁原子力発電安全管理課長、原子力安全・保安院原子力安全技術基盤課長、審議官、次長、環境省審議官（除染担当）など。平成26年7月退官。
平成28年10月より現職。

◆講演『福島事故後の放射線による健康影響について』

東北放射線科学センター 理事 宍戸 文男 氏

【講演概要】

福島第一原子力発電所事故の影響による「福島県民健康管理調査」など県内での放射線調査による客観的データに基づいた県民の放射線による健康影響をはじめ、放射線が人体へ与える影響などをわかりやすくご講演いただきます。



講師略歴

宍戸 文男（ししど ふみお）氏（福島県立医科大学名誉教授）
東北放射線科学センター 理事
東北大学大学院医学研究科修了、放射線医学総合研究所研究員、仙台厚生病院、秋田県立血管研究センター、放射線医学総合研究所、福島県立医科大学放射線医学講座教授
平成27年5月より現職。

【会場アクセス】

東北大学 片平キャンパス

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

JR 仙台駅より徒歩 20 分

<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/jpn/map.html>

※会場には駐車場がございません。ご来場には公共交通機関をご利用下さい。

